

【福祉車両の説明を！】



1 福祉車両を購入する場合

福祉車両は、自動車製造会社が初めから専用車両として作ることはほとんどなく、既存の車両を目的に合わせ装備する場合が大半ですので、次のことを参考として検討してください。

- ①何に使うのか、使用頻度、運転者するのは誰かなどを明確にすること。
- ②自分の好みやライフスタイルにあった車両を選ぶこと。
- ③車両にどのような装備を付け加えるかを明確にすること。
- ④機能と乗り心地、メリット、デメリットを納得して選ぶこと。
- ⑤介護される立場も考えること

2 介護する高齢者が車いす利用の場合

高齢者の状態によって機能の選び方が異なってきますので、次のことを参考にし、実際に乗ってチェック検討してください。

- ・車いすのまま乗り込める車両がいいのか
- ・車いすから車両に移乗するほうがいいのか
- ・車いすの収納は必須なのか

※ 車いすごと乗車した場合、いすへの乗り移りがない分、介助は楽ですが、車いすは走行中の振動が大きく、乗っている人の疲れも大きくなりますので、長距離の移動には不向きと考えてしまいます。また、身体の大きな人は、頭が窓枠や天井に当たったり、膝が曲がらない人が足を伸ばすのに十分な空間がないことなどが解かります。

3 主な種類

- ・助手席回転スライドシート車
- ・後部席回転スライドシート車
- ・全自動助手席回転スライドシート車
- ・助手席リフトアップシート車
- ・全自動後部席回転スライドシート車
- ・サイドリフトアップシート車
- ・車椅子用収納装置
- ・車イス仕様車
スロープタイプ、リフトタイプ
- ・福祉車両のレンタル

4 その他

福祉車両の利用者には、様々な税法上の減免制度や、有料道路通行料金の割引などがありますので、チェックして利用してください。

福祉機器の購入に際しては、自動車取得税や自動車税の減免、消費税の非課税などさまざまな優遇制度が用意されています。また、身障者の方の車両購入に際しては、貸付、その他の助成制度が設けられています。

詳しくは最寄りの福祉事務所・税務署・都道府県税事務所などでご確認ください。